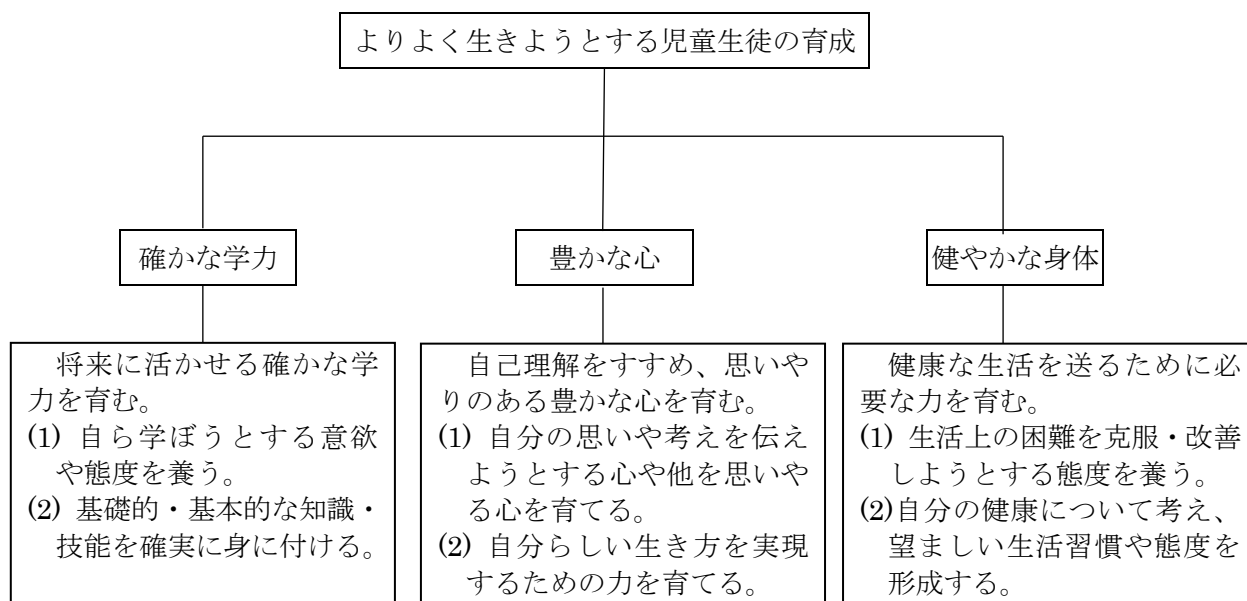


I 学校教育目標

1 教育目標

児童生徒の病気や障がい配慮し、一人一人に応じて確かな学力と豊かな心や健やかな身体を養い、よりよく生きようとする人間の育成に努める。



2 重点目標

各教科等の指導においては、病気の状態や障がいの特性、発達の段階に応じた指導内容の精選や指導方法・指導形態の工夫により、基礎的・基本的な学力を身に付けられるようにする。また、地域の施設や関係機関、学校等の施設・設備の活用等連携の充実を図るなど学習環境の整備に努めるとともに、児童生徒が主体的に学習に取り組めるよう体験的な学習活動の充実を図る。

II 小学部

1 学部目標

- (1) 様々な学習や活動をとおして興味・関心の幅を広げるとともに、学習したことを日常の生活に活用しようとする意欲と態度を養う。
- (2) 自分の思いや考えを伝えることができるようにするとともに、相手の気持ちを考えて行動する態度と習慣を養う。
- (3) 自分の身体に関心を持ち、健康で安全な生活を送ろうとする態度と習慣を養う。

2 教育課程編成上の基本方針

(1) 教育課程編成の方針

- ア 小学校に準ずる教育を受ける病弱児である児童を対象とする通常教育課程を編成する。
- イ 教育目標の達成を目指し、法令及び特別支援学校学習指導要領及び小学校学習指導要領に基

づき、学校の環境や児童の病気の状態や障がいの特性及び発達の段階を十分に考慮した編成に努める。

- ウ 小学部の教育課程は、国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育の各教科及び特別な教科 道徳科（以下、道徳科）、特別活動、自立活動、総合的な学習の時間並びに小学部第3学年から第6学年においては外国語活動をもって編成する。
- エ 各教科においては、基礎的・基本的な内容が習得できるよう病気の状態や障がいの特性、発達の段階に応じて指導内容を適切に精選するとともに、指導方法の工夫やICT機器等の活用を通して学習への興味関心を高め、主体的、能動的に学習に取り組む力や思考力や問題解決能力、表現力を高めるよう編成する。
- オ 学校の諸条件を考慮し、適切な指導体制と教育環境の整備に努め、体験的な学習の充実を図ることができるよう適切に編成する。
- カ 日常生活に必要な事柄を身に付けるとともに、周囲の人々と協調しながらよりよい生活を送ることができるよう、キャリア教育全体計画をもとに生きる力を高めるよう編成する。
- キ 他校児童や地域の人々との交流及び共同学習について、指導目標を明確にするとともに計画的に実施し、豊かな人間関係が形成できるように編成する。

3 今年度改善又は努力する事項

- (1) 児童の障がいの状態や特性、発達の段階に応じて学習内容を精選し、基礎・基本の定着、充実を図れるよう指導方針を明確にし、保護者や必要に応じて医療機関とも連携しながら共通理解を持って指導に当たるようにする。
- (2) 道徳の指導に当たっては、道徳科の時間以外にも、学活等日々の出来事を活用するなど実践的な指導もあわせて行う。

4 授業日数及び授業時数

(1) 年間授業日数

学期／学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	備考
第1学期	71日	71日	71日	71日	71日	71日	
第2学期	81日	81日	81日	81日	81日	81日	
第3学期	51日	51日	51日	51日	51日	43日	3 / 1 2 卒業式のため
計	203日	203日	203日	203日	203日	195日	

(2) 年間授業時数

学年 領域・教科		1	2	3	4	5	6
各教科	国語	349	349	274	277	196	191
	社会			80	119	119	116
	算数	155	196	194	193	195	185
	理科			120	116	116	111
	生活	122	122				
	音楽	79	79	61	62	50	50
	図画工作	82	82	62	60	50	51

	家 庭					6 1	5 5
	体 育	3 9	3 9	3 9	3 9	3 9	3 8
特別な教科 道徳科		4 1	4 1	4 1	4 2	4 2	3 8
特別活動	学級活動	4 3	4 3	4 3	4 3	4 3	3 9
自 立 活 動		7 7	7 7	7 7	7 7	7 7	7 4
総合的な学習の時間				8 0	8 0	8 0	7 7
外 国 語 活 動				4 2	4 2	8 4	7 2
計		9 8 7	1 0 2 8	1 1 1 3	1 1 5 0	1 1 5 2	1 0 9 7
学 級 編 制		1			1		

(3) 1 単位時間

- 1 単位時間は 4 5 分とする。

Ⅲ 中 学 部

1 学部目標

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、自分の力を十分に発揮し、自己の目指す進路の実現に向けて努力する力を養う。
- (2) 校内外での様々な活動をとおして、経験を補い自分の生活を考える力を養う。
- (3) 自己の心身の状態や特性を理解し、健康で安全な生活を送るための知識と態度を養う。

2 教育課程編成上の基本方針

(1) 教育課程編成の方針

- ア 中学校に準ずる教育を受ける病弱児である生徒を対象とする通常教育課程を編成する。
- イ 教育目標の達成を目指し、法令及び特別支援学校学習指導要領及び中学校学習指導要領に基づき、学校の環境、生徒の病気の状態や障がいの特性及び発達の段階を十分に踏まえた編成に努める。
- ウ 中学部の教育課程は、必修教科（国語、社会、数学、理科、外国語、音楽、美術、保健体育、技術・家庭の各教科）と道徳科、特別活動、自立活動並びに総合的な学習の時間をもって編成する。
- エ 各教科における基礎的・基本的な内容が習得できるよう生徒の病気の状態や障がいの特性及び発達の段階に応じて精選するとともに、指導方法の工夫や ICT 機器等の活用を通して学習への興味関心を高め、主体的、能動的に学習に取り組む力や思考力や問題解決能力、表現力を高めるよう編成する。
- オ 学校の諸条件を考慮し、適切な指導体制を整え、問題解決能力の向上に努めるとともに、生徒の実態を的確に把握し、教育効果を高めることができるよう適切に編成する。
- カ キャリア教育全体計画をもとに、生徒一人一人が自らの進路や将来の生き方について、主体的に考え、生きる力や自己肯定感を高めることができるよう編成する。
- キ 地域との交流及び共同学習や体験的な学習について指導目標を明確にするとともに計画的に実施し、経験の不足の改善を図り、より豊かな人間関係の形成と社会性の向上を図ることができるよう編成する。

3 今年度改善又は努力する事項

- (1) 教科指導においては、一人一人の教育的ニーズをもとにして、指導方針を明確にし、保護者や必要に応じて医療機関とも連携しながら共通理解を持って指導に当たるようにする。その際教科に

おける自立活動の視点や配慮点、工夫を取り入れた授業を展開する。

- (2) 道徳の指導に当たっては、道徳科の時間の充実以外に、学活等日々の出来事を活用して行うなど実践的な指導もあわせて行う。

4 授業日数及び授業時数

(1) 年間授業日数

学期／学年	第1学年	第2学年	第3学年	備考
第1学期	71日	71日	71日	
第2学期	81日	81日	81日	
第3学期	51日	51日	43日	3/12 卒業式のため
計	203日	203日	195日	

(2) 年間授業時数 (別表)

学 年 領域・教科		1	2	3
必修 教科	国 語	154	159	110
	社 会	121	117	147
	数 学	158	125	151
	理 科	122	161	151
	音 楽	55	35	38
	美 術	47	40	38
	保健体育	39	39	37
	技術・家庭	84	77	35
	外 国 語	155	156	156
特別な教科 道徳科		41	41	39
特別 活動	学級活動	43	43	39
自 立 活 動		82	82	76
総合的な学習の時間		52	78	74
計		1153	1153	1091
学 級 編 制		1		1

(3) 1 単位時間

- 1 単位時間は50分とする。